

授業科目名 <英訳>	フィールド分析法 Methodology for Field Analysis				担当者所属・ 職名・氏名	情報学研究科 教授 守屋 和幸 経営管理大学院 教授 松井 啓之 経営管理大学院 准教授 山内 裕 経営管理大学院 特定講師 平本 毅					
配当 学年	1回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2017・ 後期	曜時限	金5	授業 形態	講義	使用 言語	日本語
授業種別	デザイン学科目										
【授業の概要・目的】											
<p>現実世界（社会）での製品、サービス、事業などのデザインを行うために必要なフィールド分析の方法論として、フィールドでの調査法（エスノグラフィ、アンケート調査法など）、定量分析法（各種統計解析法）について講述する。</p> <p>対象フィールドの選定、調査目的の設定、調査内容の決定などを学習した後で、具体的な調査方法や各種統計解析法について理解を深める。</p> <p>これらの学習を基にして各自が取り組んでいる研究についてのプレゼンテーションを学期の後半に行う。</p>											
【到達目標】											
アンケート調査、エスノグラフィなどを用いたフィールドからのデータの収集方法を理解する。 得られたデータの分析方法を理解する											
【授業計画と内容】											
<p>フィールド調査法（3回） 基本的なフィールド調査の流れ（対象フィールドの選定、調査目的の設定、調査内容の決定などについて講述する。</p> <p>デザイン・エスノグラフィ（4回） フィールド調査の計画の立案ならびに調査を実施する。そのための手法としてのエスノグラフィ、アンケート調査法などについても合わせて講述する。</p> <p>定量分析法（4回） 統制実験の在り方について概説する。量的評価のデザイン方法（仮説を検証するための実験法の組み立て方や変数の制御方法）や量的データの収集方法、量的データを分析するためのRを用いた統計手法を紹介する講述する。</p> <p>プレゼンテーション(3回) 受講者による研究内容の発表を行い、議論する。</p>											
【履修要件】											
特になし											
【成績評価の方法・観点及び達成度】											
<p>現実世界（社会）でのフィールド分析法の概念の理解、および、演習を通して設定した課題について、フィールド調査のための各種手法・技術を理解し自ら使用できることを到達目標とする。 下記の順に考慮して決定する予定。</p> <p>講義への参加および期間中に課す演習課題 60%程度</p>											
----- フィールド分析法(2)へ続く -----											

フィールド分析法(2)

課題発表の内容等

40%程度

[教科書]

授業で用いる講義ノートは、適宜配布する。

[参考書等]

(参考書)

[授業外学習(予習・復習)等]

フィールド調査を行う前に、調査の手法等の予習を行う。
統計処理等については、復習として実際に統計アプリケーションを利用して例題データの統計処理を行い手法を理解する

(その他(オフィスアワー等))

オフィスアワーは設定しないが、質問や面談はメールによるアポイントを経て随時対応する。

オフィスアワーの詳細については、KULASISで確認してください。